

横須賀市立病院 経営強化プランについて

令和6年(2024年)1月18日(木)

横須賀市立病院運営委員会

本日も意見をいただきたい項目

1 診療科の見直しについて

1 診療科の見直しについて

(1) 前回ご意見をいただいた内容

- 患者が少ない診療科については、市立2病院が共に毎日診療を行うことは、医師の確保の観点において、見直す余地がある。
- 市立2病院の指定管理者が同一法人であるメリットを活かし、機能分化・連携強化を促進すべき。

(2) 外来患者数の推移

■ 市民病院

(単位：人)

診療科	令和元年度 (2019年度)		令和2年度 (2020年度)		令和3年度 (2021年度)		令和4年度 (2022年度)	
	延患者数	1日平均	延患者数	1日平均	延患者数	1日平均	延患者数	1日平均
内科	4,795	16.5	5,119	17.5	5,187	17.7	4,154	14.2
血液内科	2,474	8.5	1,999	6.8	1,913	6.5	1,571	5.4
内分泌・糖尿病内科	6,455	22.3	6,325	21.3	6,143	21.0	6,046	20.6
精神科	4,420	15.2	3,988	13.6	3,768	12.9	3,571	12.2
脳神経内科	5,135	17.7	4,313	14.7	4,466	15.2	4,546	15.5
呼吸器内科	9,303	32.1	7,665	26.2	853	2.9	1,306	4.5
消化器内科	14,388	49.6	12,547	42.8	12,378	42.2	11,799	40.3
循環器内科	19,052	65.7	17,141	58.5	16,220	55.4	14,135	48.2
腎臓内科	14,665	50.6	15,276	52.1	14,500	49.5	13,751	60.7
リウマチ科	4,528	15.6	3,845	13.1	3,823	13.0	3,508	12.0
小児科	537	1.9	428	1.5	341	1.2	252	0.9
外科	12,169	42.0	10,228	34.9	7,760	26.5	7,381	25.2
整形外科	18,053	62.3	15,536	53.0	15,820	54.0	13,750	46.9
関節外科	5,256	18.1	3,893	13.3	4,491	15.3	4,347	14.8
形成外科	3,235	11.2	2,806	9.6	965	3.3	756	2.6
脳神経外科	2,877	9.9	2,458	8.4	2,343	8.0	2,370	8.1
皮膚科	8,427	29.1	2,820	9.6	1,869	6.4	1,925	6.6
泌尿器科	8,399	29.0	7,011	23.9	7,774	26.5	7,611	26.0
産科	848	2.9	488	1.7	540	1.8	111	0.4
婦人科	1,943	6.7	1,866	6.4	1,496	5.1	1,346	4.6
眼科	7,028	24.2	5,661	19.3	6,010	20.5	5,986	20.4
耳鼻いんこう科	4,719	16.3	2,253	7.7	2,206	7.5	2,353	8.0
放射線科	1,090	3.8	652	2.2	2,927	10.0	3,398	11.6
歯科口腔外科	3,154	10.9	2,317	7.9	2,235	7.6	2,236	7.6
合計	162,950	561.9	136,545	466.0	126,028	430.1	118,209	403.4

■ うわまち病院

(単位：人)

診療科	令和元年度 (2019年度)		令和2年度 (2020年度)		令和3年度 (2021年度)		令和4年度 (2022年度)	
	延患者数	1日平均	延患者数	1日平均	延患者数	1日平均	延患者数	1日平均
内科	16,318	56.3	16,500	56.3	17,811	60.8	18,199	62.1
精神科	735	2.5	557	1.9	614	2.1	657	2.2
脳神経内科	1,648	5.7	1,366	4.7	1,638	5.6	2,011	6.9
呼吸器内科	7,137	24.6	5,826	19.9	6,452	22.0	5,814	19.8
消化器内科	8,200	28.3	5,692	19.4	7,133	24.3	8,412	28.7
循環器内科	11,556	39.8	10,103	34.5	11,905	40.6	12,312	42.0
腎臓内科	2,436	8.4	3,245	11.1	3,544	12.1	3,322	11.3
小児科	10,962	37.8	8,244	28.1	10,751	36.7	11,925	40.7
外科	7,627	26.3	5,799	19.8	6,810	23.2	7,455	25.4
整形外科	8,488	29.3	6,757	23.1	8,735	29.8	10,837	37.0
形成外科	2,065	7.1	1,625	5.5	2,075	7.1	2,424	8.3
脳神経外科	3,151	10.9	2,519	8.6	3,144	10.7	3,486	11.9
呼吸器外科	1,206	4.2	930	3.2	986	3.4	1,283	4.4
心臓血管外科	3,220	11.1	2,726	9.3	2,837	9.7	2,755	9.4
皮膚科	7,694	26.5	6,959	23.8	6,972	23.8	7,949	27.1
泌尿器科	11,249	38.8	9,338	31.9	10,075	34.4	11,001	37.5
産科・婦人科	5,975	20.6	4,631	15.8	5,046	17.2	5,379	18.4
眼科	10,382	35.8	8,911	30.4	9,865	33.7	10,847	37.0
耳鼻いんこう科	5,109	17.6	4,140	14.1	5,211	17.8	5,407	18.5
放射線科	6,888	23.8	4,391	15.0	4,358	14.9	7,034	24.0
リハビリテーション科	840	2.9	1,125	3.8	440	1.5	48	0.2
救急科	4,910	16.9	3,465	11.8	3,637	12.4	3,528	12.0
合計	137,796	475.2	114,849	392.0	130,039	443.8	142,085	484.9

(3) 機能分化・連携強化を促進すべきと考える診療科(案)

前回いただいたご意見を踏まえて、市立2病院間の機能分化・連携強化を促進すべきと考える診療科は以下のとおり

- 産科・・・【市民病院】令和4年(2022年)8月から常勤医師1名体制となったことにより、分娩は休止している。
外来診療については、週5日行っているが1日平均患者数は0.4人となっている。
 - 【うわまち病院】常勤医師5名体制で入院診療及び週6日の外来診療を行っている。
1日平均患者数は18.4人(婦人科含む)となっている。

- 小児科・・・【市民病院】平成26年(2014年)4月に常勤医師をうわまち病院に集約・統合したことにより、入院診療については、休止している。
外来診療については、うわまち病院から非常勤医師の派遣を受けて週6日行っているが、1日平均患者数は0.9人となっている。
 - 【うわまち病院】常勤医師14名、非常勤医師3名体制で入院診療及び週6日の外来診療を行っている。
1日平均患者数は40.7人となっている。

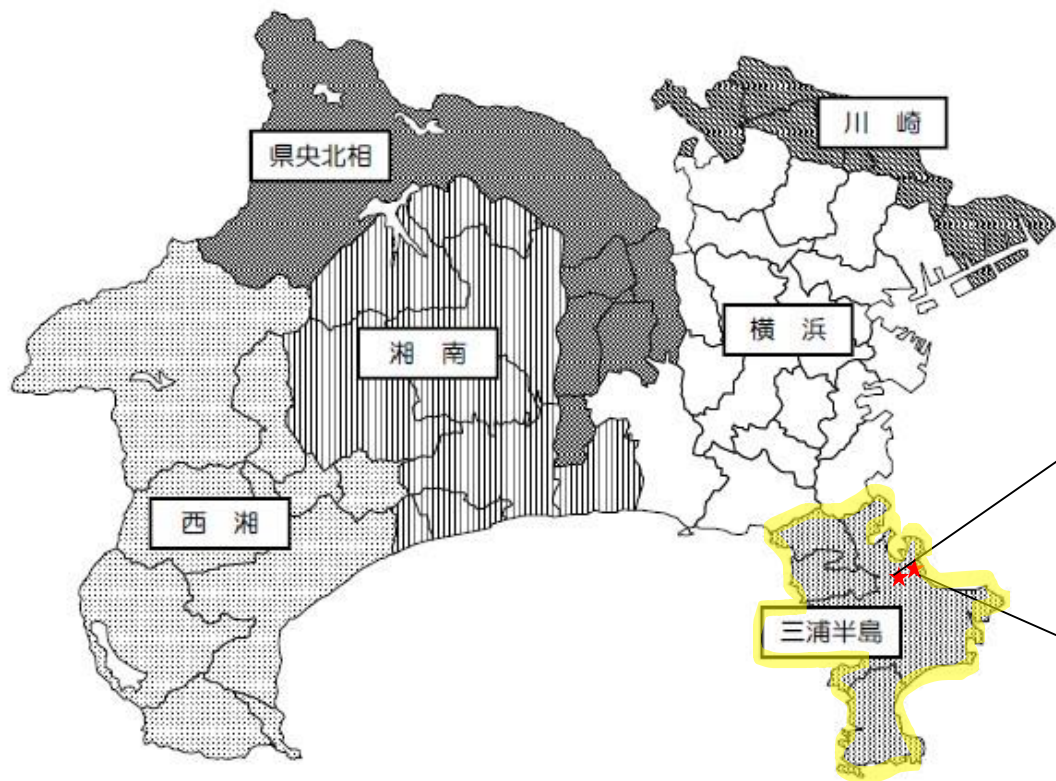
※実績はいずれも令和4年度(2022年度)

①産科

ア.周産期医療の体制(神奈川県の方策)

- 神奈川県では、「神奈川県周産期救急医療システム」を運用しており、県内を6つのブロックに分けて各ブロックで「基幹病院」、「中核病院」、「協力病院」を指定している。
- 三浦半島ブロックでは、横須賀共済病院が「基幹病院」、うわまち病院が「中核病院」に指定されている。また、両病院は神奈川県から地域周産期母子医療センターに認定されている。

○周産期医療圏の状況



横須賀市立うわまち病院
 ・ 地域周産期母子医療センター
 ・ 中核病院

横須賀共済病院
 ・ 地域周産期母子医療センター
 ・ 基幹病院

○基幹病院・中核病院・協力病院の定義

基幹病院	<ul style="list-style-type: none"> ブロック内での患者受入調整 ブロックの拠点として、重症例を中心にあらゆる患者を24時間体制で受入
中核病院	<ul style="list-style-type: none"> 基幹病院の機能を補完 中等症以上の患者を中心に原則として24時間体制で受入
協力病院	<ul style="list-style-type: none"> 比較的軽度な患者や基幹病院・中核病院で急性期を脱した患者の受入

地域周産期母子医療センター
 ・産科及び小児科（新生児医療を担当するもの）等を備え、周産期に係る比較的高度な医療行為を行うことが可能な施設
 ・24時間体制での周産期救急医療

イ.三浦半島ブロックの産婦人科医療機関(病院)

- 横須賀市内で産婦人科を標榜している病院は6施設ある。
- 横須賀市内で分娩を取扱っている病院は、うわまち病院と横須賀共済病院の2施設ある。

●産婦人科標榜病院のマップ



●産婦人科標榜病院 一覧(■ : 分娩取扱施設)

No	左図上の番号	市町村	施設名
1	—	横須賀市	横須賀市立市民病院
2	—	横須賀市	横須賀市立うわまち病院
3	1	横須賀市	社会福祉法人 日本医療伝道会 衣笠病院
4	2	横須賀市	国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院
5	3	横須賀市	自衛隊横須賀病院
6	4	横須賀市	社会福祉法人湘南福祉協会 総合病院湘南病院
7	5	三浦市	三浦市立病院
8	6	葉山町	医療法人徳洲会 葉山ハートセンター

出典：関東信越厚生局「保険医療機関・保険薬局の指定一覧(2023年4月現在)」より作成

ウ. 三浦半島ブロックの産婦人科医療機関(診療所)及び助産所

- 横須賀市内の産婦人科を標榜している診療所は15施設あり、うち2施設が分娩を取り扱っている。
- 市外の産婦人科を標榜している診療所は、三浦市内に1施設、逗子市内に5施設ある。
- 三浦半島ブロックの助産所は2施設あり、2施設ともに分娩を取り扱っている。

●産婦人科クリニックのマップ



●産婦人科クリニック一覧(■：分娩取扱施設)

No	左図上の番号	市町村	施設名
1	1	横須賀市	国立クリニック
2	2	横須賀市	うみかぜレディースクリニック
3	3	横須賀市	横須賀マタニティクリニック
4	4	横須賀市	つのだレディースクリニック
5	5	横須賀市	くりはま優レディースクリニック
6	6	横須賀市	小松原レディースクリニック
7	7	横須賀市	後藤産婦人科
8	8	横須賀市	今井ウイメンズクリニック
9	9	横須賀市	よこすか女性泌尿器科・泌尿器科クリニック
10	10	横須賀市	池田医院
11	11	横須賀市	医療法人社団 齋藤医院
12	12	横須賀市	高レディースクリニック
13	13	横須賀市	医療法人恵和善隣会 追浜駅前よこレディースクリニック
14	14	横須賀市	共栄会 鳥海医院
15	15	横須賀市	内出医院
16	16	逗子市	医療法人社団桜山会 丸山産婦人科
17	17	逗子市	土田産婦人科内科
18	18	逗子市	ゆみ中医漢方クリニック
19	19	逗子市	八尾産婦人科医院
20	20	逗子市	波クリニック
21	21	三浦市	塩崎産婦人科

出典：関東信越厚生局「保険医療機関・保険薬局の指定一覧(2023年4月現在)」より作成

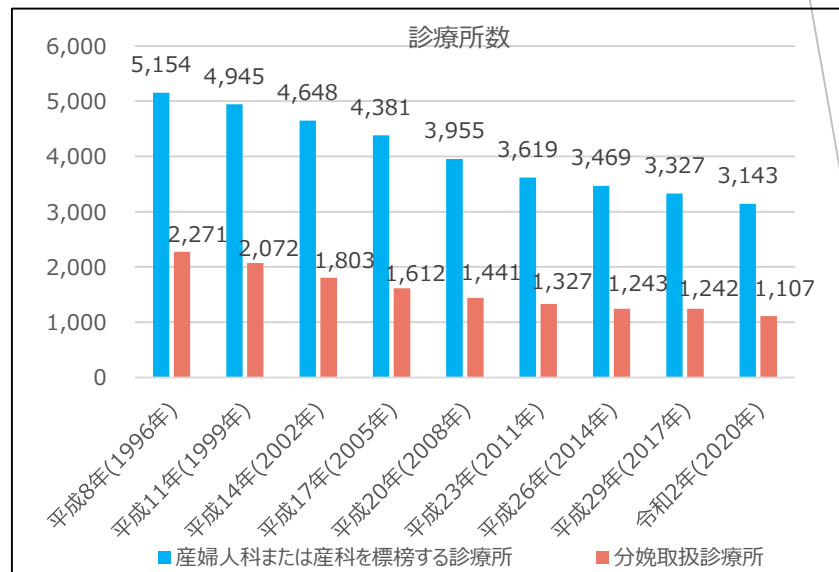
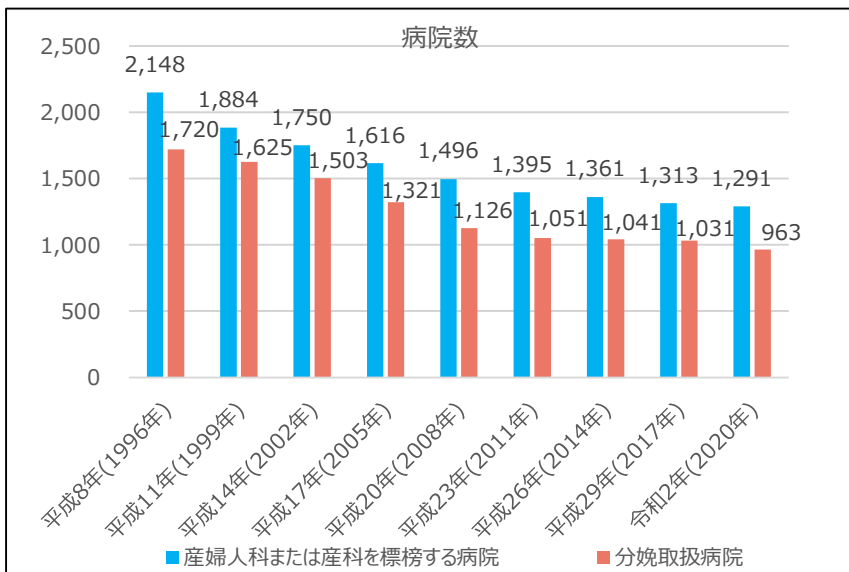
●助産所一覧(■：分娩取扱施設)

No	市町村	施設名
1	横須賀市	かもめ助産院
2	横須賀市	ぶくぶく助産院

出典：民生局健康部健康総務課調査資料より作成

エ. 産婦人科医師数の推移(全国)

- 産婦人科または産科を標榜する病院・診療所の数は減少傾向となっている。
- 病院に勤務している産婦人科医師は増加しているのに対し、診療所に勤務している産婦人科医師が減少しており、集約化が進んできていると考えられる。



勤務施設	産婦人科が主たる診療科である医師数		
	平成14年(2002年)	令和2年(2020年)	増減
総数	10,618	11,219	+601
病院	6,215	7,127	+912
診療所	4,403	4,092	▲311

出典：株式会社医療開発研究所資料より作成

オ. 横須賀市内の分娩件数及び受け入れ可能件数(年間)

(件)				
	令和3年度 (2021年度) 分娩件数 実績	令和4年度 (2022年度) 分娩件数 実績	令和5年度 (2023年度) 見込み件数 ※令和5年9月調査	令和5年度 (2023年度) 受け入れ 可能件数 ※令和5年4月調査
市民病院	23	8	0	0
うわまち病院	105	99	110	350
その他の病院等	1,904	1,820	1,639	1,880
合計	2,032	1,927	1,749	2,230

303

横須賀市内の「分娩件数」と「受け入れ可能件数」を比較すると、「分娩件数」よりも「受け入れ可能件数」が303件上回っている。

出典：民生局健康部健康総務課調査資料より作成

カ. 市民病院の産科の分娩実績

	平成19年度 (2007年度)	平成20年度 (2008年度)	平成21年度 (2009年度)	平成22年度 (2010年度)	平成23年度 (2011年度)	平成24年度 (2012年度)	平成25年度 (2013年度)	平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	
分娩取扱 件数	454	498	431	168								10	27	29	23	23	8
院内助産 における 分娩取扱 件数						12	14	5	5	6	5	2					

※常勤医師が1名となったため令和4年8月から休止している。

キ.まとめ

- ・市民病院の外来診療については、週5日行っているが1日平均患者数は0.4人となっている。
- ・三浦半島ブロックには「神奈川県周産期救急医療システム」における「基幹病院(横須賀共済病院)」と「中核病院(うわまち病院)」の2病院があり、両病院とも地域周産期母子医療センターに認定されている。
- ・横須賀市内の分娩を取り扱っている施設は、病院2施設、診療所2施設、助産所2施設の合計6施設ある。
- ・病院に勤務している産婦人科医師は増加しているのに対し、診療所に勤務している産婦人科医師が減少しており、集約化が進んできていると考えられる。
- ・横須賀市内の「分娩件数」と「受け入れ可能件数」を比較すると、「分娩件数」よりも「受け入れ可能件数」が303件上回っている。

ク.産科についての考え方

市民病院の産科の外来と入院診療は取りやめ、総合医療センターに機能集約してはどうか。

イ. 三浦半島小児医療圏の小児科医療機関(病院)

- 横須賀市内で小児科を標榜している病院は7施設、市外では三浦市に1施設ある。
- 横須賀市内で小児科の入院を行っている施設は、うわまち病院、横須賀共済病院の2施設ある。

●小児科標榜病院のマップ



●小児科標榜病院 一覧(■ : 小児入院可能施設)

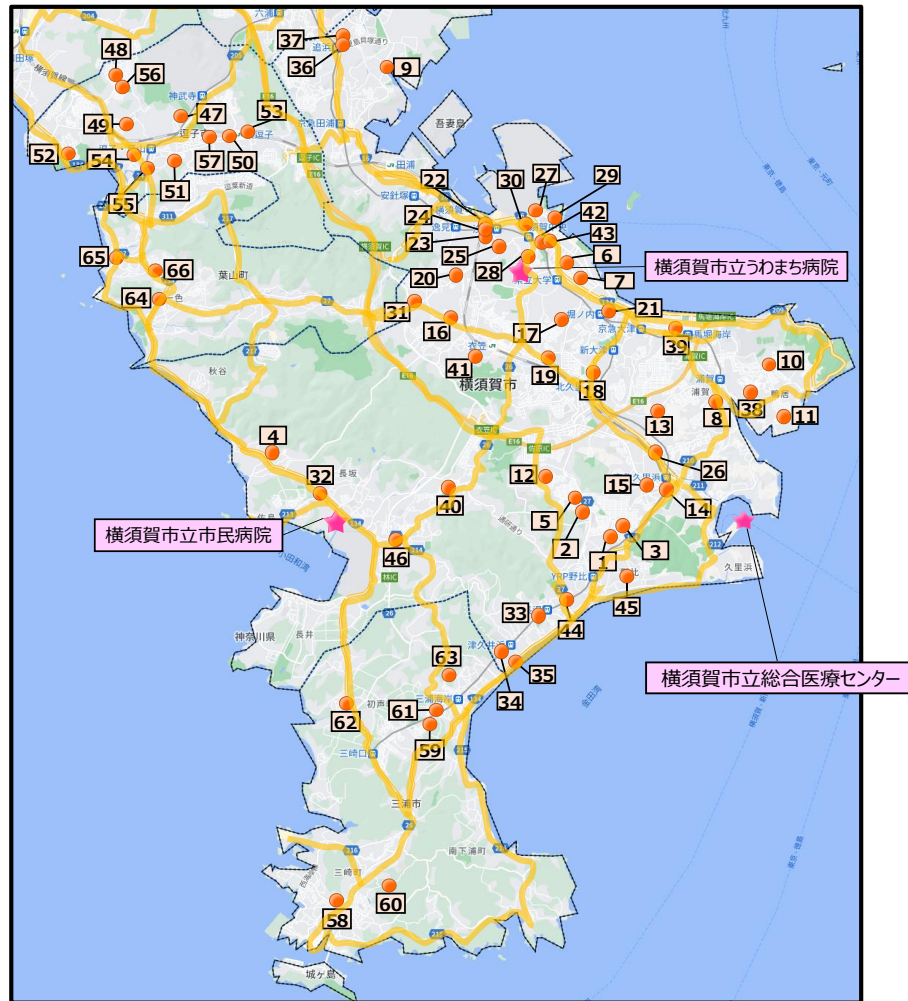
No	左図上の番号	市町村	施設名
1	—	横須賀市	横須賀市立市民病院
2	—	横須賀市	横須賀市立うわまち病院
3	1	横須賀市	社会福祉法人 日本医療伝道会 衣笠病院
4	2	横須賀市	国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院
5	3	横須賀市	ライフゆう
6	4	横須賀市	自衛隊横須賀病院
7	5	横須賀市	医療法人横浜未来ヘルスケアシステム よこすか浦賀病院
8	6	三浦市	三浦市立病院

出典：関東信越厚生局「保険医療機関・保険薬局の指定一覧(2023年4月現在)」より作成

ウ. 三浦半島小児医療圏の小児科医療機関(診療所)

- 横須賀市内で小児科を標榜している診療所は46施設ある。
- 市外では、三浦市に6施設、逗子市に11施設、葉山町に3施設ある。

●小児科標榜クリニックのマップ



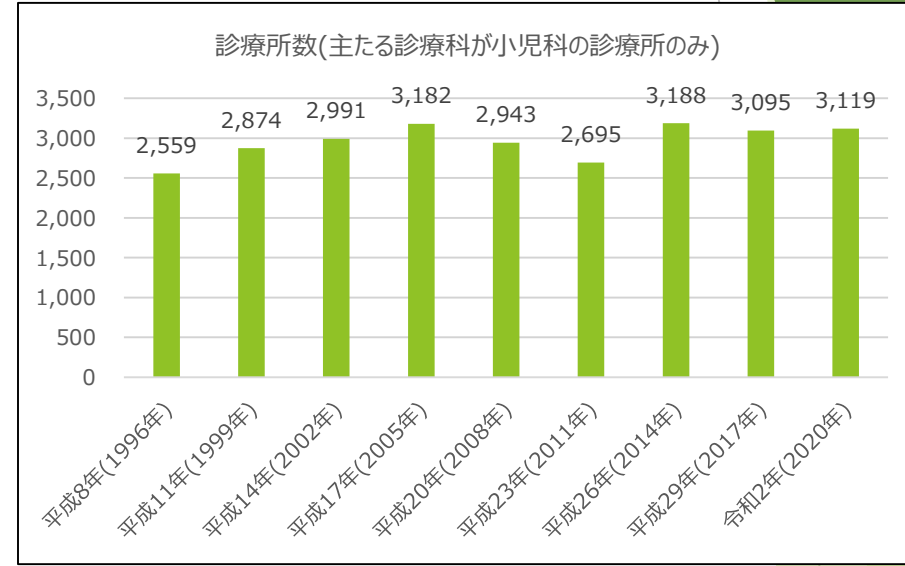
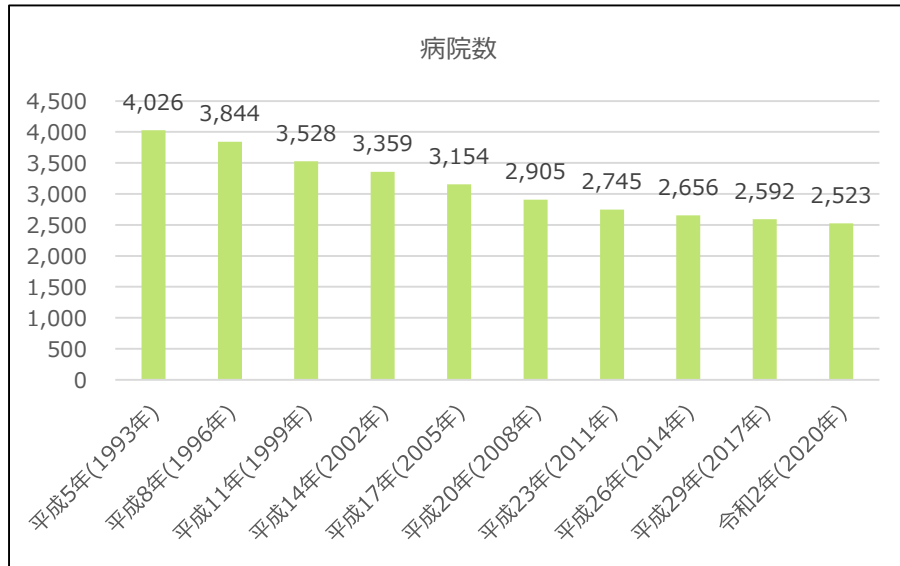
●小児科標榜クリニック一覧

No.	市町村	施設名
1	横須賀市	中村内科医院
2	横須賀市	国立クリニック
3	横須賀市	大木医院
4	横須賀市	しおさい診療所
5	横須賀市	田中医院
6	横須賀市	三上医院
7	横須賀市	ゆきこどもクリニック
8	横須賀市	三宅整形外科小児科クリニック
9	横須賀市	橋本医院
10	横須賀市	鴨居ファミリークリニック
11	横須賀市	小磯診療所
12	横須賀市	うめざわ医院
13	横須賀市	湘南山手つちだクリニック
14	横須賀市	くどう小児科クリニック
15	横須賀市	今井内科クリニック
16	横須賀市	医療法人社団 原医院
17	横須賀市	公郷医院
18	横須賀市	北久里浜医院
19	横須賀市	医療法人社団 光仁会 高宮小児科
20	横須賀市	大畑医院
21	横須賀市	堀之内医院
22	横須賀市	大澤医院
23	横須賀市	毛利医院
24	横須賀市	汐入メンタルクリニック
25	横須賀市	医療法人社団 吉村医院
26	横須賀市	医療法人社団 久里浜横井クリニック
27	横須賀市	横須賀市療育相談センター診療所
28	横須賀市	内海こどもクリニック
29	横須賀市	横須賀市救急医療センター
30	横須賀市	横須賀タワークリニック
31	横須賀市	医療法人恵秀会 佐々木医院
32	横須賀市	医療法人社団 齋藤医院
33	横須賀市	ふかさわクリニック

No.	市町村	施設名
34	横須賀市	小倉医院
35	横須賀市	竹内医院
36	横須賀市	共栄会 鳥海医院
37	横須賀市	ふくなが小児科
38	横須賀市	大橋医院
39	横須賀市	馬堀小児科医院
40	横須賀市	医療法人 寿優会 山形医院
41	横須賀市	衣笠こどもクリニック
42	横須賀市	くすの木クリニック
43	横須賀市	山下ファミリークリニック
44	横須賀市	鎌倉医院
45	横須賀市	げんぶん小児クリニック
46	横須賀市	内田こどもクリニック
47	逗子市	公益財団法人逗葉地域医療センター
48	逗子市	ハイランドクリニック
49	逗子市	一色医院
50	逗子市	土田産婦人科内科
51	逗子市	逗葉内科クリニック
52	逗子市	山本小児科内科クリニック
53	逗子市	医療法人 海星会 東逗子医院
54	逗子市	さくらクリニック
55	逗子市	佐久間こどもクリニック
56	逗子市	おばなファミリークリニック
57	逗子市	医療法人桜薫会 さくらま小児科クリニック
58	三浦市	矢島内科医院
59	三浦市	医療法人 英和会 徳山診療所
60	三浦市	にしやま小児科
61	三浦市	塩崎産婦人科
62	三浦市	あさい内科クリニック
63	三浦市	三浦海岸つばさクリニック
64	葉山町	医療法人 徳洲会 湘南葉山デイケアクリニック
65	葉山町	ホリスティックメディカルクリニック
66	葉山町	すこやか子どもクリニック

エ. 小児科医師数の推移(全国)

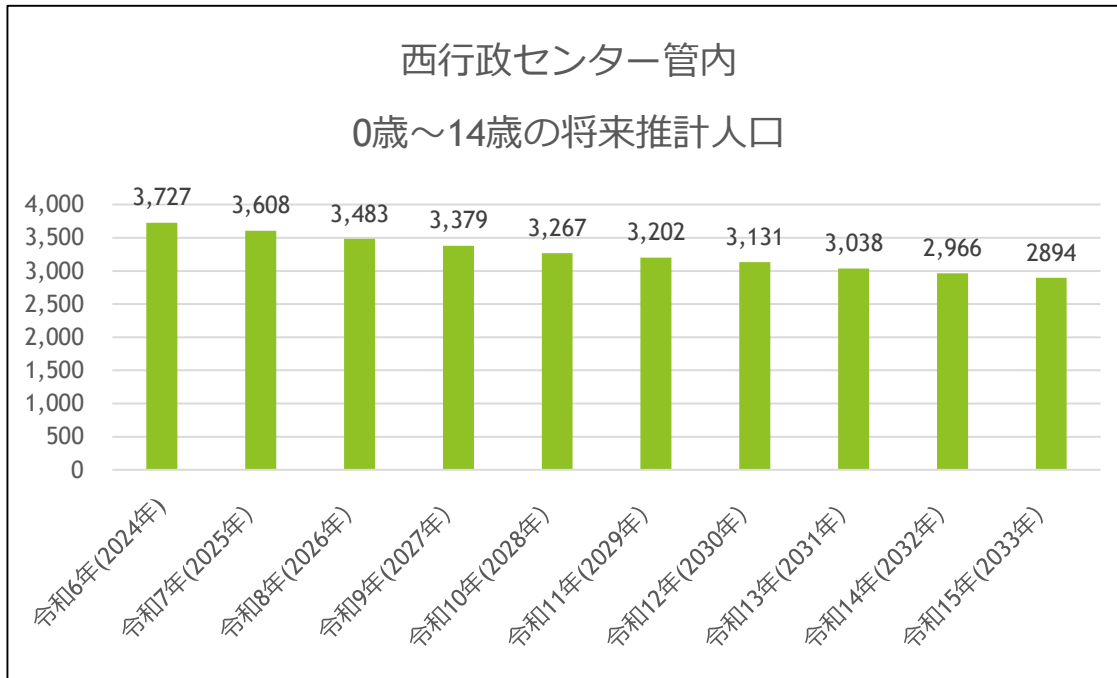
- 小児科を標榜している病院数は減少しているのに対して、小児科を主として標榜する診療所の数は横ばいとなっている。
- 小児科医師数は増加傾向にあり、病院小児科については集約化が進んできていると考えられる。



勤務施設	小児科が主たる診療科である医師数		
	平成14年(2002年)	令和2年(2020年)	増減
総数	14,481	17,997	+3,516
病院	8,429	11,088	+2,659
診療所	6,052	6,909	+857

オ. 市民病院の小児科の現状

- 西行政センター管内の0歳～14歳の将来推計人口は、今後も減少傾向(令和15年と令和6年を比べると約22%の減少)となっている。
- 市民病院における外来患者実績は、減少傾向となっている。



令和6年 (2024年)	令和7年 (2025年)	令和8年 (2026年)	令和9年 (2027年)	令和10年 (2028年)	令和11年 (2029年)	令和12年 (2030年)	令和13年 (2031年)	令和14年 (2032年)	令和15年 (2033年)
3,727	3,608	3,483	3,379	3,267	3,202	3,131	3,038	2,966	2,894

出典：横須賀市住民基本台帳「見える化システム」より作成

■ 市民病院の小児科の患者実績

	外来		入院	
	延患者数	1日平均患者数	延患者数	1日平均患者数
平成21年度(2009年度)	13,053	53.9	8,361	22.9
平成22年度(2010年度)	4,648	15.9	5,141	14.1
平成23年度(2011年度)	3,870	13.1	3,870	13.1
平成24年度(2012年度)	2,783	9.5	2,783	9.5
平成25年度(2013年度)	2,204	7.5	653	1.8
平成26年度(2014年度)	1,676	5.7	0	0.0
平成27年度(2015年度)	1,324	4.5	0	0.0
平成28年度(2016年度)	940	3.2	0	0.0
平成29年度(2017年度)	1,308	4.5	0	0.0
平成30年度(2018年度)	952	3.3	0	0.0
令和元年度(2019年度)	537	1.9	0	0.0
令和2年度(2020年度)	428	1.5	0	0.0
令和3年度(2021年度)	341	1.2	0	0.0
令和4年度(2022年度)	252	0.9	0	0.0

カ.まとめ

- ・市民病院の外来診療については、うわまち病院から非常勤医師を派遣し、週6日行っているが、1日平均外来患者数は0.9人となっている。(令和4年度(2022年度)実績)
- ・三浦半島小児医療圏においては、うわまち病院と横須賀共済病院が「地域小児科センター」に登録されている。
- ・横須賀市内で小児科を標榜している診療所は46施設ある。
- ・小児科医師については、病院及び診療所に勤務している医師は増加している一方で、病院の数は減少、診療所の数は横ばいのため、集約化が進んできていると考えられる。
- ・西行政センター管内の0歳～14歳の将来推計人口は、今後も減少傾向(令和15年と令和6年を比べると約22%の減少)となっており、また市民病院における外来患者実績は、減少傾向となっている。

キ. 小児科についての考え方

市民病院について、入院診療(現在休止中)は取りやめて総合医療センターに一本化し、外来診療は診療日を縮小した上で継続してはどうか。

(4) 市民病院の総合診療科の新設について

高齢化が進んでいる現在、外来、入院において、この高齢化に伴う疾病の重複化、重症化に対して、単一の診療科では診療が難しい場合など、重篤で複雑な疾患に対応し、横断的な診療を行う診療科として、すでにうわまち病院にある「総合診療科」を市民病院にも新設してはどうか。

- ・総合診療科は、初期対応を通じて、重症度や緊急性を評価し、また各専門診療科へ診療の引き継ぎを行うだけでなく、総合診療科で完結する病態についてはそのまま通院での診療を行い、入院が必要な場合は入院調整を行う。総合診療科で入院中の患者管理を行うことにより、患者にとっては安全で質の高い医療を受けることが可能となる。
- ・現在、診療科の専門分化は高度に進んでおり、市民病院においては、呼吸器内科など常勤医(専門医)がいない診療科の疾患については対応が困難な場合がある。それらの疾患に対して、総合診療科で対応が可能な疾患についてはそのまま診療を行い、市民病院では診療が困難な事案においては、総合医療センターを紹介する等、市立2病院間での連携を強化していくことにより、今後も住み慣れた地域で市民が安心して医療サービスを受けられる体制の構築が期待できる。